青　空

北九州市立洞北中学校　学校通信

校長　　竹中　雅則

令和６年1月９日
第１８号

新しい年、そして３学期のスタートです！

２０２４年、令和６年がスタートしました。本年もどうぞよろしくお願いします。
年末から気温も暖かく、穏やかに新年を迎えたと思ったのもつかの間、元旦から能登地方の震災、羽田空港の事故、小倉の火災など、ショッキングなニュースが続き、皆さんも心を痛めていることと思います。

今回の震災、事故によってお亡くなりになった皆様に心よりお悔やみ申し上げます。また、被災、被害にあった皆様とご家族にお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を心よりお祈りいたします。

シン・洞北

２学期の終業式は大雪予報による臨時休校で１日早く実施しましたが、３学期の始業式は予定通り１月９日（火）に行いました。式の中で、私が生徒に見せたのが**「シン・洞北」**という言葉です。洞北中学校のすべての生徒に送る言葉を考えていたときに、一言で思いを表したのが「シン」でした。色々な場面でよく目にする言葉ですが、「シン」を辞書で調べてみると、

新・清・深・伸・真・慎・芯・信・進・・・

といった様々な漢字が出てきます。「シン・洞北」には次のような思いが込められています

新年を清らかに！　・・・新しい気持ちになって、悩みすぎず、すがすがしい気持ちで頑張ろう！

深く考えて伸びる！　・・・何事もよく考えて挑戦することで自分の成長につなげよう！

真実を見て慎重に！　・・・噂や思い込みで行動せずに、注意深く心配りをしよう！

芯を信じて突き進む！・・・自分の中にある本心を信じて、恐れず前に進もう！

そして何より大切にしてほしい２つの「シン」は・・・、**「心」と「身」つまり「こころとからだ」です。**

皆さんのこころとからだは皆さん自身のものです。ですからそれを大切にしなければいけません。そしてそれは周りの人にとっても同じです。自分を大切にしてください。自分の命を守ってください。他人を傷つけることはやめてください。いつ、どこで起こるかわからない災害に備えてください。顔の見えないSNSの先には、血の通った人間がいることを忘れないでください。みんなが笑顔で生活するために・・・。それが「シン・洞北」です。

柔道家　井上康生さんが洞北にやってきた！

令和５年１２月１３日（水）に、シドニーオリンピック男子柔道金メダリストの**井上康生さんが洞北中に来校**され、生徒と交流会を行いました。

当日は、井上さんから生徒に「熱意・誠意・創意をもって、できることを一つずつ積み重ねて」とエールが送られました。

放課後には武道場で柔道部の生徒との柔道教室を開催。生徒にとって金メダリストの指導は大変よい経験になりました。ありがとうございました。

インスタグラム「洞北中学校　校長日記」のご閲覧、ご支援ありがとうございます。フォロワー間のトラブル防止のため、フォローはご遠慮いただいています。適切な運用になるようにご理解とご協力をお願いします。